

エルトガ 完全に濡れ7しまい最悪のパターン。
寒さ下 眠れず夜中にコンロ下飲物を作る。

1月3日(快晴)

寒さ下 眠れなまま。朝5時た出発する。濡れた
シエラフなとは重い。朝5時た出発する。濡れた
は良くななる見たい。朝5時た出発する。濡れた
友達を探すが、天幕が夕すとの風が強い。凍った
尾根を登り樹林帯を抜ける午の少し登った所スキーの
をし7しまった。今回は赤岳中退アイゼンを外すが、雨の
つ7しまった。今回は赤岳中退アイゼンを外すが、雨の
察たったが、草引き返し、アイゼンも外すが、雨の
行者小屋まで引返し、アイゼンも外すが、雨の
降った後たか下大休止し7、スキー受取るが、道
路一面凍結し7、スキーどころ下は無くアイゼ
ンの御世話になっ7しまった。

天気は快晴になっ7来7。こんな条件の良い時に
登れなると後々まで、ムズキうな気がする。
赤岳頂上は登れなかったが、大きな発見する事が
出来た。そのは兼用靴(バルガ4000)を使ったが、前の
ベロを外すと登山靴まではいれないが、たいぶ歩き
やすかった事下す。ただしスパッツをし7かりし7
いないと雪が入るかモ知れませんか？

タイム 取らず

記 佐藤正春